

特集

品種特性と用途の紹介

指導部顧問 松浦 一字

生産費も賄いきれない程の低米
価が続く中、生産現場では経営安
定化に向けた懸命な努力が続けら

主食用米に加え、酒造用米・加
工用米・飼料用米と用途も多岐に

渡っている。
また、主食用米では「より美味
しい米」を目指した産地間競争に

品種特性を熟知して

肥料設計に当たる

負けまいと、各県毎に新品種も誕生しているようである。
これまで作ったこともない品種に戸惑いを感じている農家も多いようなので用途別や、最近デビューした品種等の概要（品種特性等）を記述した。次年度に向けた栽培計画の参考にして頂ければ幸いである。

表1は、山形県奨励品種（水稲）等の特性一覧表から近年デビューしたもののや、加工用米・酒造用米として最近作られている品種を抜粋、これまで20数年に渡って作り慣れた「はえぬき」と比較検討できるようにしたものである。

特に初めて作る品種では、基肥量（窒素成分量）や穂肥量の適正量を守ることが重要である。

稈長が長く倒伏し易い品種、稈長は長くとも稈が太くて倒伏に強

い品種、稈長が短くて倒伏に強い品種等を「はえぬき」と比較検討して、誤りのない基肥量と穂肥の時期及び施肥量にすることが健全多収に繋げる基本である。

美味しい米

新品種次々と誕生

美味しい米として人気を博している山形県の「つや姫」がデビューして7年程になるが、その他に山形112号・山形95号等もデビューしている。

また、近隣の秋田県では「つぼぞろい」、宮城県では「ささ結」といった新品種が次々とデビューし美味しさを競っている。

図1は「つぼぞろい」「ささ結」の系譜であるが、いずれも嘗ての名品種ササニシキや「ひとめぼれ」の血を引く優良品種と言っても過言ではないようである。

「つぼぞろい」は、粒の大きさと秋田米のおいしさの表現から命

（やまがたアグリネット 山形県米の図書館より抜粋）

表1. 山形県奨励品種（水稲）等の特性一覧表

品 種 名 (系統名) 両 親 名	採用 年度	出穂期 月日	成熟期 月日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	芒の 多寡	草 の 多寡	穂 の 多寡	米 の 多寡	食 味	諸 抗 性	耐 病 性	生育 の 特 徴	栽培上の留意点
「奨励品種」 はえぬき (山形45号) 庄内29号×秋田31号 (あきたこまち)	平成 3年	8月 4日	9月 14日	70.6	17.4	518	中	中	中	中	中	中	中	草丈はやや短 めで茎数はや や少ない。	初期生育を確保し、適正な初 穂確保に努めるのと同時に刈り 遅れないよう注意する。
「優良品種」 山形 112 号 山形80号×山形90号	平成 27年	8月 15日	9月 15日	67.4	17.7	562	少	偏穂 数	中	中	中	中	中	草丈は「はえぬ き」よりやや短 く、茎数は多く 葉色はやや濃い	「はえぬき」より穂数は確保し やすいが、初期生育の促進に努 める。また、多肥栽培は品質、食 味を低下させるので行わない。
「優良品種」 出羽きり (山形100号) 山形75号×奥羽366号 (ちゅうひかり)	平成 21年	8月 15日	9月 15日	78.0	18.9	485	少	中	中	中	中	中	中	草丈・茎数、 葉色とも、は えぬき並であ る。	酒造用掛米に適する。醸造適 性を低下させないため、また 耐倒伏性は中であることから、 多肥栽培は行わない。
「認定品種」 山形 95 号 山形59号×奥羽366号 (ちゅうひかり)	平成 21年	8月 13日	9月 13日	82.0	19.4	517	少	中	中	中	中	中	中	草丈はササニ シキ並で、茎 数も並である	良質・良食味米生産のため、 適正な施肥に努める。特に、 耐倒伏性が中であることから、 多肥栽培は行わない。
「認定品種・低アミロース」 のゆき (山形84号) 庄1658×山形63号	平成 16年	7月 27日	9月 4日	62.5	17.2	472	稀	中	中	中	中	中	中	草丈はやや短 く、茎数はや や少ない。葉 色はやや濃い	穂もちのほ場抵抗性が弱い ので、移植時の箱施用剤使用 など適期適正防除に努める。 品質と食味特性を低下させな いため、多肥栽培は行わない。
「優良品種・酒米」 燦々 (山形酒49号) 美山錦×青系酒97号 (華吹雪)	平成 7年	8月 2日	9月 12日	82.2	19.0	359	無	穂 重	中	中	中	中	中	草丈は長く、 茎数は確保し にくい。	保温の水管理で分けつを促進す る。千粒重を確保するためm ² 当 たり穂数を多くしない。葉いも ちに弱いので適期防除に努める。
「優良品種・酒米」 美山 錦 (信放酒1号) たかね錦のγ線照射突然変異	昭和 63年	7月 31日	9月 10日	92.5	20.3	384	無	穂 重	中	中	中	中	中	草丈は長く、 茎数は確保し にくい。	保温の水管理で分けつを促進す る。倒伏しやすいので、生育調節 を徹底する。千粒重を確保す るためm ² 当たり穂数を多くしない。
「優良品種・酒米」 出羽 里 (山形酒86号) 滋系酒56号×山形酒49号 (吟吹雪) (出羽燦々)	平成 16年	8月 16日	9月 16日	77.2	19.4	444	稀	偏穂 重	中	中	中	中	中	草丈はやや短 く、茎数は確 保しやすい。	醸造適性を低下させないため、 多肥栽培を避ける。葉いもち、 穂もちのほ場抵抗性が不十分 なので適期防除に努める。
「優良品種・酒米」 山形 酒 104 号 庄酒2560×蔵の華 (出羽の里)	平成 26年	8月 2日	9月 12日	79.4	19.9	465	やや少	偏穂 重	中	中	中	中	中	草丈はやや短 く、茎数は確 保しやすい。	醸造適性を低下させないため、 また葉いもちも場抵抗性が 「やや弱」、耐冷性が「中」で あるため、多肥栽培は避け、 適正管理に努める。

※出穂期、成熟期、稈長、穂長、穂数、玄米千粒重は、山形県農業総合研究センター水田農業試験場（鶴岡市藤島）でのデータ（H20～26の平均値）。
※「はえぬき」を基準にして、それぞれの品種を見る事で品種特性が理解し易い。

表2. 飼料用米の試験結果事例

試験結果事例 移植栽培 (庄内)

(山形県農業総合研究センター水田農業試験場)

品 種 名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	倒伏程度 0~4	全 量 (kg/10 a)	粗玄米重 (kg/10 a)	精玄米重 (kg/10 a)	千粒重 (kg/10 a)
ふくひびき	8/6	9/20	72	20.4	398	0	1622	777	726	24.2
べこあおば	8/11	9/26	70	20.0	381	0	1578	742	679	31.5

平成20~21年 5月10日移植 牛堆肥2 t/10 a 基肥N 5 kg/10 a 追肥 -25 N 2 kg/10 a

試験結果事例 移植栽培 (内陸)

(山形県農業総合研究センター)

品 種 名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	倒伏程度 0~4	全 量 (kg/10 a)	粗玄米重 (kg/10 a)	精玄米重 (kg/10 a)	千粒重 (kg/10 a)
ふくひびき	8/4	9/14	75	20.2	377	0	1820	800	738	25.0
べこあおば	8/6	9/20	79	19.3	408	0	2040	831	751	31.2
夢あおば	8/4	9/17	92	21.2	366	0	2180	865	811	26.5

平成21年 5月20日移植 基肥N 7 kg/10 a 追肥幼形 N 3 kg/10 a 穂孕 N 3 kg/10 a 穂揃 N 3 kg/10 a

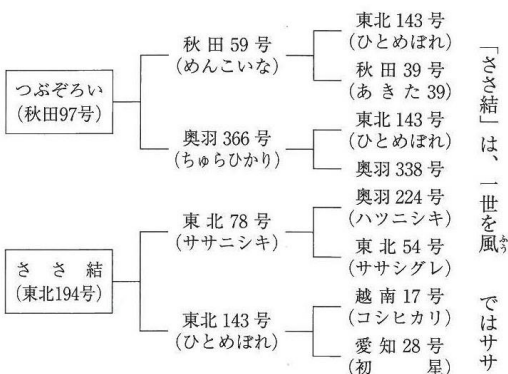


図1. 「つぶぞろい」「ささ結」の系譜図

(農業食品産業技術 総合研究機構 作物研究所 イネ品種データベースより)

「ささ結」は、一世を風靡したササニシキを創出した古川農試で作られた品種である。図1にある通り、「ササニシキ」を父に「ひとめぼれ」を母に誕生。品種特性はササニシキと類似している所も多いようであるが、玄米のタンパク含有量が少なく食味向上された、和食に適した新品種と宣伝されているようである。ササニシキは現在でも「すし屋」さんではササニシキでなければと言った根強い人気はあるものの、地球温暖化等の影響で白粒等が発生しやすく生産者の苦労は絶えなかった。

表2は、飼料用米の試験結果事例を山形県水田農業試験場が発表しているものである。いずれの品種も耐倒伏性は「中」であり、ササニシキの「弱」より一段と優れ、和食に好適な新品種に期待が高まっているようである。

飼料用米は 多収穫で経営の安定に

他にも、秋田県の「秋のきらめき」など続々と新品種が作られているようで、まさに、美味しい米の合戦の態であるが、近県のみならず、美味しさを割愛した。

まっているようである。ササニシキが庄内の気候風土・栽培技術と相まって、庄内平野の田圃のほとんどの栽培されたようにはいかないまでも、意外と庄内にも普及する可能性が秘められているのではと、期待しながら見守っていきたいものである。